

これまでの硫黄島における遺骨帰還の 取組状況について

米国資料の分析等の取組状況について

これまでの調査結果

1. 集団埋葬地に関する情報

- 米海軍基地資料館の調査の結果、平成22年度に確認された集団埋葬地の設営に携わった部隊の資料を発見(平成24年4月)し、以下の点が確認された。
 - ・ 集団埋葬地の大きさ(摺鉢山:80フィート×58フィート、滑走路西側:262フィート×196フィート)
 - ・ 集団埋葬地が2カ所だけである可能性が高いこと

2. 壕等の分布図に関する情報

- 国立公文書館の調査の結果、壕等の分布図を確認(平成24年4月)。
 - ・ 海兵隊第3師団作成の「日本軍要塞情報」という資料であり、硫黄島の同団活動地域について多くの壕等の所在地が記載。
- 壕等の分布図のほか、各資料館の病院、戦闘記録等の資料から得られた埋葬情報を活用し、日本側資料と照合の上、面的調査を実施。

(参考)調査している資料館

これまで、以下の資料館に保存されている資料を調査。現在は、これら資料館の埋葬地、病院、壕、戦闘記録等の資料の中に、上記以外の遺骨収容につながる情報が記載されていないか調査分析中。

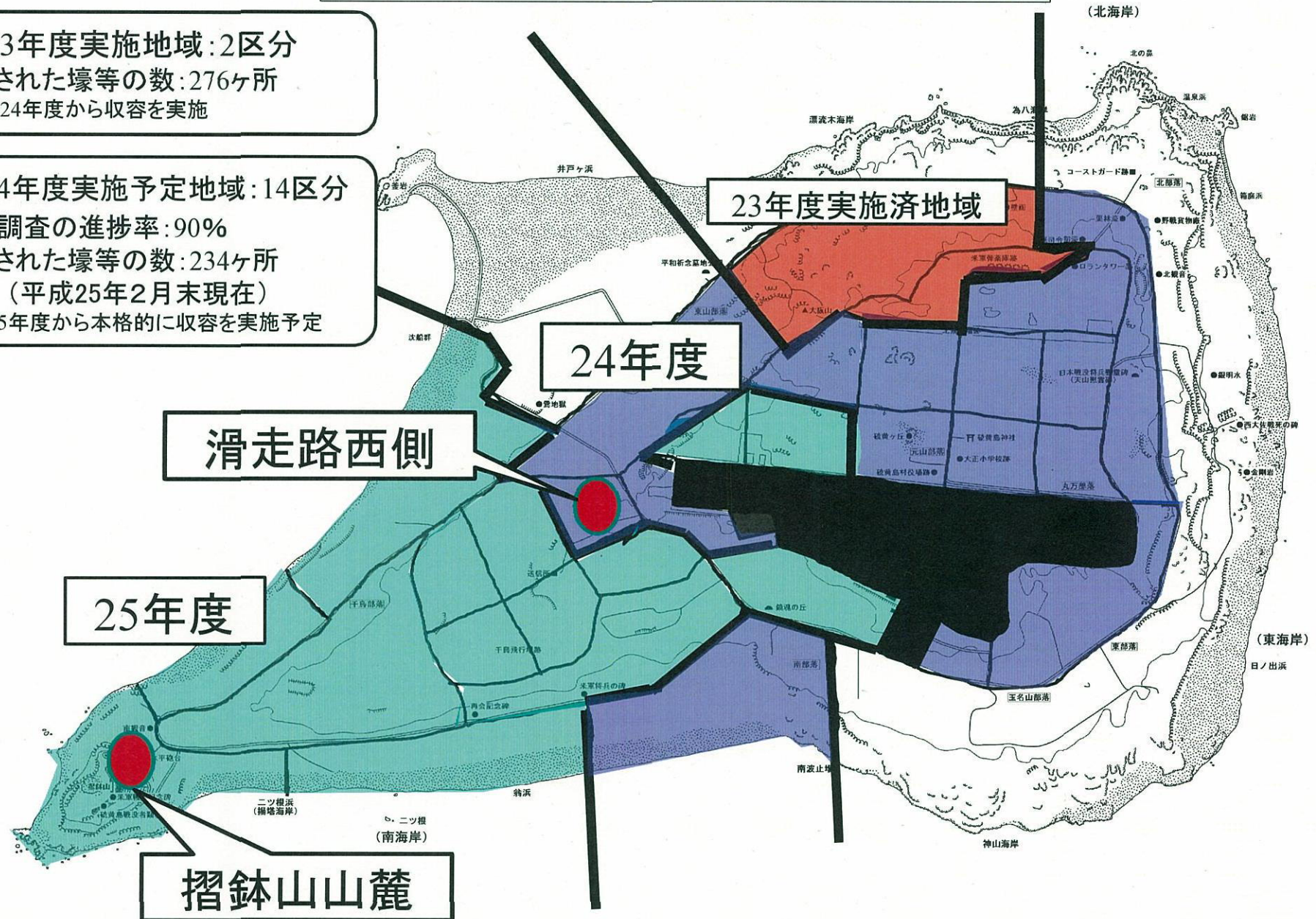
《平成23年度及び平成24年度》

- 国立公文書館(メリーランド州) 平成23年8月～平成24年11月実施
- 海兵隊図書館内海兵隊資料館(バージニア州) 平成23年11月、平成25年2月実施
- 海軍基地資料館(カルフォルニア州) 平成24年2月～4月実施
- 海軍工廠図書館及び資料館(ワシントンDC) 平成25年2月実施
- 航空隊歴史資料調査機関(アラバマ州) 平成24年10月実施
- 国立公文書館サンフランシスコ分館(カリフォルニア州) 平成25年1月実施

面的調査の取組状況について

平成23年度実施地域:2区分
発見された壕等の数:276ヶ所
※平成24年度から収容を実施

平成24年度実施予定地域:14区分
面的調査の進捗率:90%
発見された壕等の数:234ヶ所
(平成25年2月末現在)
※平成25年度から本格的に収容を実施予定



硫黄島における遺骨収容の取組状況について

《硫黄島における遺骨収容の現状》

(平成25年3月21日現在)

○ 戦没者概数 約21,900人

○ 遺骨送還数 10,147柱

○ 未送還遺骨数 11,753柱

昭和27年から延べ98回の遺骨収容を実施

うち平成15～21年度は東部の外周道路外側において遺骨収容を実施

平成22年度からは島中心部(集団埋葬地、地下壕等)において遺骨収容を実施

1. 平成23年度実施状況

○ 平成23年11月下旬、平成24年2月上旬に、御遺族・若者等のボランティアやNPO等による50名規模の派遣を実施。

○ 滑走路西側の集団埋葬地から収容された御遺骨	335柱	} 計344柱
他の地点から収容された御遺骨	9柱	

2. 平成24年度実施状況

○ 通年行うこととしている遺骨帰還団の派遣については、平成24年5月から平成25年3月までに計10回派遣、収容を実施(帰還団員は20名前後)。

○ 平成24年7月中旬、8月下旬、10月上旬、平成25年2月上旬に、御遺族・若者等のボランティアやNPO等による50名規模の派遣を実施。

○ 滑走路西側の集団埋葬地から収容された御遺骨	145柱	} 計266柱
平成23年度の面的調査で発見された壕等から収容された御遺骨	121柱	

硫黄島における遺骨収容等の現状

戦没者概数 約21,900人	遺骨送還数 10,147柱
	未送還遺骨数 11,753柱

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度予算(案)
遺骨収容数	50	44	84	43	26	51	822※1	344※2	266※3	(柱) —
硫黄島関連予算額 (厚生労働省)	26,543	21,249	30,085	34,895	34,866	65,016	136,523※4	1,000,363※5	884,971※6	(千円) 884,813※7
収容実施地域	外周道路 外側	外周道路 外側	外周道路 外側	外周道路 外側	外周道路 外側	外周道路 外側	島中心部	島中心部	島中心部	—

※1 822柱のうち、集団埋葬地の可能性の高い場所から815柱（滑走路西側から663柱、摺鉢山山麓から152柱）、

その他の場所から7柱収容。

※2 344柱のうち、集団埋葬地の可能性の高い滑走路西側から335柱、その他の場所から9柱収容。

※3 266柱のうち、集団埋葬地の可能性の高い滑走路西側から145柱、その他の場所から121柱収容。

※4 その他慰霊巡拝等予算を含め、硫黄島対策予算 173,912千円を計上。

※5 その他慰霊巡拝等予算を含む平成23年度予算（元氣な日本復活特別枠） 1,160,227千円を計上。

※6 その他慰霊巡拝等予算を含む平成24年度予算 981,665千円を計上。

※7 その他慰霊巡拝等予算を含む平成25年度予算(案) 966,762千円を計上。

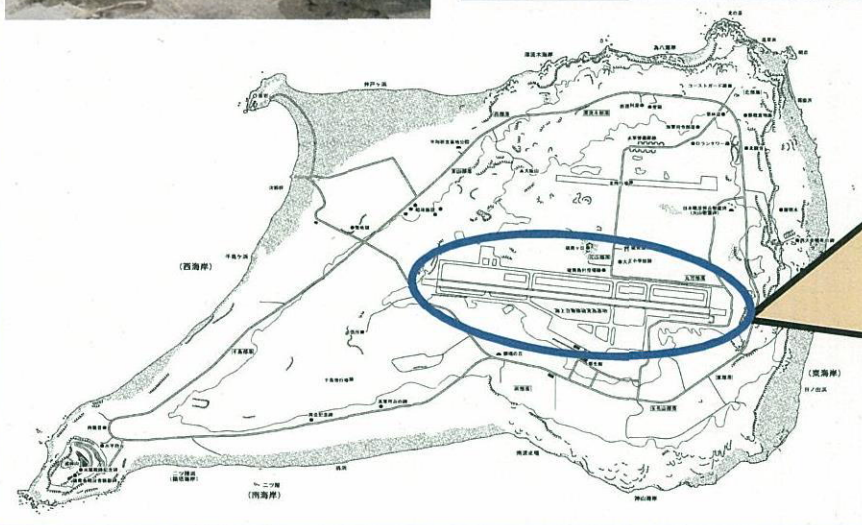
(参考)遺骨収容等の現状(全体)

海外戦没者概数 約240万人	遺骨送還概数	約127万柱
	未送還遺骨概数	約113万柱
	うち海没遺骨	約30万柱
	相手国事情で収容困難な遺骨	約23万柱
	送還すべき遺骨	約60万柱

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度予算(案)
遺骨収容数	1,151	604	640	760	2,038	8,965	8,097	1,983	—	(柱) —
厚生労働省予算額	267,329	242,096	244,114	239,729	240,231	320,941	614,232	1,566,935	1,318,485	(千円) 1,302,901

硫黄島からの遺骨帰還推進に関する防衛省の取組

- ① 輸送支援: 輸送機・輸送艦による人員、御遺骨、物資等の輸送の拡充
- ② 施設提供: 宿泊及び給食施設等の提供の通年化
- ③ 人的支援: 不発弾処理、ガス検知及び遺骨収容支援に係る人員・回数の拡充
重機オペレータの新規発出
- ④ 滑走路下における御遺骨・壕の存否を確認する科学的手法についての検討等
- ⑤ 防衛省防衛研究所発行の「戦史叢書」等の資料の提供



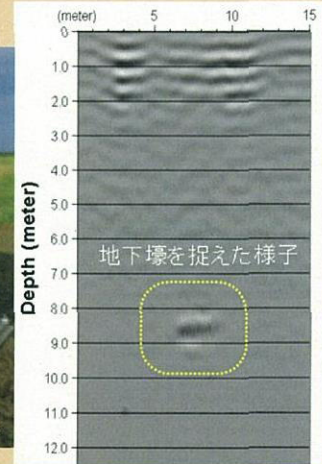
23年度 御遺骨・壕の存否を確認する科学的手法について検討(約5千万円、高性能地中レーダ試作等)

24年度 高性能地中探査レーダ等の探査機器を用いた滑走路地区等での調査(約1億円)

25年度 24年度調査に基づく、詳細な確認調査(約1億円を要求)



高性能地中レーダ試作機の性能確認試験状況



(参考) 面的調査、遺骨収容等の様子



面的調査

深掘



面的調査

筋掘



面的調査

すき取り



面的調査により
発見された壕



壕内での遺骨収容



集団埋葬地での
遺骨収容